

新山協ニュース

△ 発行者 平田大六 △ 発行所 新潟県山岳協会
〒951 新潟市下旭町109 鈴木敏雄方 TEL025-222-9548

第16回北信越国体 合掌造りの里 五箇山

少年女子監督 渡邊正之

私自身が北信越国体に関わりを持つようになって7年になる。その間、新潟の少年女子は3位以内の順位で、毎回3枚ずつ賞状をもらってきた。しかし、今年は他県に大きく水を空けられて、1枚の賞状をも手にすることが出来なかった。文字通りの惨敗である。

◎総合 4位

◎縦走競技 5位

◎踏査競技 4位

原因は大きく4つあげることができる。他県、特に長野と富山の選手強化が著しかった。2番目以降は、もっぱら三条東高の校内事情による。3年生がこの大会の出場を嫌がる。米山で踏査満点を取った者、昨年2年生で出場した者、いちばん体力があると私が見ている者、誰もが首を縦に振ってくれなかった。山岳部の顧問が実質2名になり、夏山合宿の準備に1名が必要だから、事前の現地トレーニングの引率は1名がやっと。

そのため、現地トレーニングの日数が例年より2日間も少ない。森庄一団委員長から7月16日模擬踏査練習の連絡をもらったが、期末テストの答案の採点が終わらず、それどころではない。成績処理が最終締め切りにやっとなに合った。縦走コースも顧問が先頭を切って選手を引っ張るようにならないと、本当の意味での練習にならない。大会直前に診断書が出て、選手を1名入れ替えたこともあって、顧問と縦走コースを一緒に登ったのは、3年生1名だけである。2年生2名は、縦走コースを一度だけ歩いて大会にのぞんだ。

2回の事前トレーニングの様子をメモしてみた。

7月13日(木)雨のち晴れ、2泊3日の日程で、富山県東砺波郡平村相倉にある踏査競技コースで出向きました。福

光町で高速道を降りて、登攀の行われる城端町を通り、ふたつの長いトンネルを抜けると、五箇山になる。相倉はその最初の集落で、釘を一本も使わない萱葺きの独特の形をした建物が、10数棟点在する。周りを緑の山で囲まれ、田圃と共にある風景は、遠い昔に迷い込んだような錯覚さえ感じさせかねない。

時計の針がすでに15時をだいぶ過ぎていたため、この日の行動時間を最大2時間と考えて、コースの3分の1程の距離にある鹿熊峠まで歩くことにした。スタート地点近くの民俗資料館の受付のおばさんに地図を見せて尋ねると、コースはこの建物の角を曲がって登ること、鹿熊峠は草ぼうぼうで、果たして通れるかなあという返事ももらった。大ケヤキを過ぎてさらに登ると、舗装道路に出た。この道路をそのまま進めば鹿熊峠に至る。しかし、草ぼうぼうの言葉を信じたため、周囲遊歩道の方に入り込んでしまった。結局得ることなく撤退。民宿の人達に聞いても、ここで北信越国体の山岳競技が行われることさえ知らない。

前日まで、国体の応募書のために3人の家を順に訪問して夜遅かったので、応募書は城端町から郵送した。

7月14日(金)雨のち晴れ、雨具上下と長靴で7時過ぎに出発。3年生ふたりには傘があったが、2年生ひとりはずり持ってきていない。経験の差か。昨日とコースを逆回りすることにした。これが大失敗のもと。相倉から来栖の集落を抜けて上梨の集落に至る。来栖の人家の脇から古い石の道しるべに従って、最初の送電線の鉄塔まで難なく行った。ところが、そこからの道がわからない。舗装された道路と昔ながらの山道が交錯している上に、それらは地図に載っていない。杉林の手入れをしていない人に、地図を示して尋ねたが、先日も同じ質問を受けたと云うだけの、つれない返事だけが返って来た。彷徨を繰り返すうちに、折良く豊協マ

クのトラックが通りかかき、ようやく納得のいく説明をしてもらった。昼食を相倉でとるため自動車道に下りたら、コースをおおきく外れた小来栖の人家に出てしまった。相倉の集落まで雨具に長靴のま

ま、舗装道路を延々と歩く。午後からは自動車を使って、鹿熊峠の下山口や平スキー場を確認して、頭の中で踏査コースが一応つながった。2年生が足の痛みを訴えるため自動車に残し、3年生ふたりを連れてコースを回る。

7月15日(土) 晴れ、スタート地点から時計回りに踏査コースを一巡した。距離計を回しながら歩く、スキー場から上梨の旧道の部分に大きな誤差が出る。どうも変だ。コースを外れて歩いてるらしい。それは次回に調べることにして、午後は、縦走会場の上平村に移動する事に決めた。

縦走コースは今回新しく切り開いた道で、この時は地形図にはもちろん載っていないし、登山道入り口にも標識もない。国道沿いに戻って食堂の人に聞いてみたが、要領を得ない。帰りの予定時間も迫ってきて、ことおぼしきところを60分間だけ登ることにした。3年生1名はすぐに遅れ始め、同じ道に戻るからと、そのまま先に進む。もう1名も途中から付いて来なくなった。70分で特区ゴールに着かないまま、下山することにし

た。道は、最初の60分間くらい急斜面の登りが続く。その後は平坦ではないが、比較的ゆるい登りと下りを繰り返しながらゴールになる。あと20分くらい我慢をすれば、送電線鉄塔下のゴールに到達していたであろう。この時は、それを知らずに新潟に向かった。急勾配の登山道は、登りと同じくらいの時間を下山に要した。

7月25日(火) 晴れ、2回目の現地トレーニングに出発。3年生1名、2年生2名のメンバーになる。前日、補欠登録であった2年生は、大会参加を承知してくれたが、家庭訪問して会った母親が出場を納得しない。山岳部に3年生女子が6人いるのに、なぜ2年生のうちの子が出なければならぬのかと言って、ウンと言ってくれない。ひたすらお願いを繰り返して、自宅に帰ったら21時に近かった。前々日まで1年生と共に巻機山で1泊2日の合宿をやった。その疲労のことも心配しているであろう。

7月26日(水) 快晴、縦走コースを回る。登山口には、国体コースと書いた小さな標識が差してあった。選手と一緒に登り、再びここを下って来るべきか。それとも最終コースで選手を待つべきか悩んだ。最終ゴールがどこなのか知らない。取り敢えず、自動車まで最終ゴールまで全員で行ってみることにした。ゴールを見つめるのにならぬ時間をくわれる。結局、選手は登山口から正規の方向で登り、監督はゴールから逆に下ることに決めた。ゴールから特区ゴールまでは約30分かかる。あちこちの送電線の鉄塔を見て遊んでる内に、選手の方が最終ゴールに到着してしまった。疲労の具合を見て、踏査コースに行くのをやめる。

7月27日(木) 快晴、朝早く、自動車で踏査コースの平スキー場まで行き、前回疑問のあった道を歩く。歴史の道しるべなるものがやっとなわかった。朽ちかけた木の道標で、道に倒れ、標高の書いてある文字は薄れて正確には読み取れない。宿に戻って朝食をとり、ひとりずつ地形図にコースを記入したりして、昼近くに再度踏査コースに入る。スタートからゴールまで通して歩く。

7月28日(金) 快晴、起床時間を7時にした。3人を起

こさないようにして、5時半に部屋を出る。ジョギングで汗をかく。泊まった国民宿舎の周囲にある名所・史跡を見て回った。午後3時から開会式で、踏査コースは8時以降入山禁止。縦走コースに行きたいが、選手にはその気はまったくない。10時近くになって食糧品の買い出しに出かけた。

7月29日(土) 快晴、起床時間を7時にした。3人を起こさないようにして、5時半に部屋を出る。ジョギングで汗をかく。泊まった国民宿舎の周囲にある名所・史跡を見て回った。午後3時から開会式で、踏査コースは8時以降入山禁止。縦走コースに行きたいが、選手にはその気はまったくない。10時近くになって食糧品の買い出しに出かけた。

北信越国体に参加して

成年女子監督 高橋賢吉

7月27日(木) 快晴、朝早く、自動車で踏査コースの平スキー場まで行き、前回疑問のあった道を歩く。歴史の道しるべなるものがやっとなわかった。朽ちかけた木の道標で、道に倒れ、標高の書いてある文字は薄れて正確には読み取れない。宿に戻って朝食をとり、ひとりずつ地形図にコースを記入したりして、昼近くに再度踏査コースに入る。スタートからゴールまで通して歩く。

第16回北信越国民体育大会山岳競技が富山県で開催されました。県代表として関川村山の会の近美千代、小島瑛子、小池由美子が選手として出場しました。結果は登攀が2位、踏査が3位で入賞し、総合成績は4位でした。

大会一ヶ月前に急に出場することになり、二人はすぐ決まりましたが登山経験はほとんど無し、最後の一人も締切られた一ヶ月でした。

前日に、10年以上ブランクのある私の妹を拝み倒しました。見ためは、貫録十分な選手が誕生しました。

練習は岩広山岳会の先輩方に応援をいただき、旧小学校の体育館に人工ボードを設置することが出来、一日おきに登攀練習を行いました。富山へは登攀練習を主体に二回合宿を行い、非常に短く感じられ



登攀競技風景

競技当日の縦走は、練習をほとんどしてないので失格にならないよう制限時間内に願いつ通り、ギリギリセーフで、当然の最下位でした。しかし特区ゴール及び最終ゴール直後、ビルルでのどを潤おしていたのは、我チームだけで、驚きの声があがり複雑な気持ちでした。登攀競技はオンサイト方式のため、経験不足がもろに出て、ルートが読めず完登できませんでした。私の力不足と反省しております。最終日の踏査競技は少年チームの調査したコースデータをいただき、二回下見できました。タイムを気にせず定点を応援にかけつけてくれた選手

確かに地図上に落すことに心がけたおかげか、タイムの上では4位でしたが定点ポイントが上回り結果3位となりました。競技がどんなものか、体験するだけで競技すべて最下位のつもりが二種目も入賞でき、非常に予定外でラッキーでした。

終わりにあたり、合宿中において、森国体委員長はじめ、少年チーム皆さん、岩広山岳会の皆さんに大変お世話になり感謝いたします。又、大会期間中は、協会の鈴木会長さんをはじめ、役員の方々、応援にかけつけてくれた選手

の関係者の皆さんからの、熱い声援をいただきありがとうございます。大会から一ヶ月が過ぎ、「人工ボードで練習させて下

平成7年度日本山岳協会

国際部委員総会及び

海外遭難対策研究会報告

海外登山委員会

田 中 純 夫

さる6月3・4日、秋田市において秋田県山岳連盟主管のもと標記委員総会及び研究会が開催された。参加者は日山協から田中副会長以下14名、各岳連からは18名、そして地元秋田岳連からは19名であった。

その後は、冬期サガルマータ南西壁の初登攀を成し遂げた八木原園明氏より「群馬県山岳連盟の海外登山のあゆみ」という内容で、「群馬の山のぼり」についてその長い苦労と戦いの物語が氏独特のユーモアを交えてサラリと語られた。同氏の話しを初めて聞く地元秋田の岳人にとっては極めて面白い内容のお話であったと思う。東北地方の山岳連盟の合同隊で2000年にはサガルマータ(チョモランマ)へ、という話しも出始めていることから、同氏の講演は東北地方の岳人たちに大きな影響を与えたものと思う。

以上で第1日目の日程すべて終了し、夕食、懇親会となった。日程第2日目は、まず日大隊のチョモランマ北東稜の初登攀を終えて帰国したばかりの日山協国際部長の神崎忠男氏のあいさつをもって始まった。続いて各岳連からの近況が報告され、特に兵庫岳連の森川氏からは阪神大震災の際の各岳連からなされた温かい支援に対して丁寧なお礼のあいさつがなされた。

最初は海外遭難対策研究会で、東京都連の海外委員で医師でもある塩田純一氏から「トレッキングから高所登山における高所障害について」というテーマで、自らの800メートル峰登山の経験も交えて、豊富なスライドも使

いながらの講演が行われた。

全体として少し時間が足りないという印象であったが内容としては非常に豊富で、参

加者には大変意義深いものであったと思う。

以上で平成7年度総会の全日程を終了したが、最後に次回開催地は岐阜県ということ全体を確認し、昼食後解散となった。

なお総会終了後、東北地方7県の海外委員長のみ集まり、恒例の東北地区海外登山研究会の事務レベルの打ち合わせを行った。また東北地区の7

中高年登山は安全で楽しく有意義に

中高年安全登山

指導者講習会報告(終)

理事 田 辺 信 行

講義3 中高年登山の実態と課題

長野県山岳総合センター 専門主事 栗林良裕氏

〈中高年登山の実態〉

中高年登山の実態調査という資料により話があった。問題となっていることが多数ある。

中高年登山者を見ていて気付いたことや問題点のうち気になる事項。

*金さえ払えば何でもやってくれらると思っている人がいたり、マナーが出来

県で派遣する2000年のサガルマータ登山隊についても、その大筋についての打ち合わせを行い、今後の実行委員会結成等へ向けての打ち合わせも行った。

なお本年8、10年には秋田岳連から海外委員長の丸山氏を隊長として、チョ・オニ峰(8201メートル)への遠征隊が発発する予定である。

例えば医者が手術のために腹を切った場合は傷害罪になるが、正当な理由があるから罪にならない。故意によって人を傷つけると傷害罪となる。

中高年登山は安全で楽しく有意義に

中高年安全登山

指導者講習会報告(終)

理事 田 辺 信 行

講義3 中高年登山の実態と課題

長野県山岳総合センター 専門主事 栗林良裕氏

〈中高年登山の実態〉

中高年登山の実態調査という資料により話があった。問題となっていることが多数ある。

中高年登山者を見ていて気付いたことや問題点のうち気になる事項。

*金さえ払えば何でもやってくれらると思っている人がいたり、マナーが出来

*山登りの基本やルール、マナーの啓蒙：どこで、だが、どう指導していくかを山岳関係者全体が真剣に考えていく必要がある。

平成6年度指導員研修会報告

「登山中の事故遭難の時

リーダーの刑事 民事責任は」④

指導委員会 三 富 一 弥

代理者責任、代理者監督者責任として山岳事故は問われる。もうひとつは、債務不履行契約関係があつて事故があつた時間問われる。契約関係とは、

学校登山の時、親は学校に対して安全に債務する義務がある。子供を学校が必ずやり、親は子供が安全に卒業できるように学校側と契約されているが、その一部として心身発達のため山岳部に入部し、事故に遭い死亡した。すなわち安全措置違反になる。

一般の山岳会では企画される山行には全く契約関係がない、という事は場合によっては有り得るかも知れませんが、講習会とか研修会とか登山講座とか銘打って費用を徴収して、一定の期間に訓練をする

怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

金銭的問題としては、民事責任にはひとつは、不法行為。責任にはひとつは、不法行為。怪我をした人、死んだ人。結果としては注意義務を怠つたといわれている。山ではリーダーと同行者の間には契約関係はなく、事故があつた時間問われる責任。すなわち不法行為責任である。使用者責任、

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

という一種の契約をして研修を行うが、研修に危険がつきものといつても、事故が生じる研修は契約上含まれない。けれど契約違反として問われる事も有り得る。山岳事故の場合、不法行為として山岳会の組織内の会長に事務局長、リーダーは契約責任が問われるという事が有り得ます。(つづく)